



BULLETIN

Kyoto wings

2024. 7
Vol.445

京都ウイングワイズメンズクラブブリン2024年7月1日発行/第38巻 第1号 通巻445号
HPアドレス <http://www.kyotowings.com>

会 長 President 青倉 国士 / Kunishi Aokura
副会長 VicePresident 上田 敦 / Atsushi Ueda・藤田 寿男 / Toshio Hujita
書 記 Secretary 岡山 聡 / Sou Okayama・山内 達也 / Tatsuya Yamauchi
会 計 Accountant 錦織 秀臣 / Hideomi Nishikiori・余 東 達 / Toutatsu Yo

★クラブ会長主題 『志をもって例会に参加し ワイズライフを楽しもう』

●今月の聖句 「鉄は鉄によってとがれ、人は友によってとがれる」
箴言27章・17節

『志をもって例会に参加し ワイズライフを楽しもう』

第38期会長 青倉 国士

私には46名の仲間がいます。年齢も仕事も違う、何の知り合いでもない。しかし、何かの縁をもってクラブに出会い、入会し、偶然に繋がった仲間です。楽しい事だけ、良いことだけをやり合い言い合うのではなく、しんどい事もやり、言いにくい事も言い合う、そんな仲間です。それがウイングクラブだと思います。ウイングクラブは、一昨年は35周年記念例会、昨年は京都部部会のホストクラブとしてメンバー全員でやりきりました。ところがここ数年、例会の出席率の低下が続いています。私は、この状況をクラブの存続に関わってくる問題だと危機感を持っています。今のメンバーは30代、40代が少ないのが現状です。各年代のメンバーが在籍することにより活発な意見交換ができ、考えに偏りなく、また活動内容も新しいものが見えてくるかもしれません。ウイングクラブがこれからも活躍し続けるために、素晴らしい仲間を50名以上に増やしていきましょう。人数が増えることで、ウイングクラブが一段階上がったクラブに変わると思います。各事業においても参加人数が減っています。事業の日程は一年間分かっていますので、各委員長は早い時期からメールやライン、例会のインフォメーションで事業の内容や意味をアピールして下さい。この状況を打開する為に、まずはメンバーの一人一人が志をもって例会に出席して頂きたいです。例会出席率を上げる事により各事業の出席率も上がり、例会や事業に参加する事でワイズライフをさらに深く知ることになるはずです。メンバーには例会出席は義務だと考えていただき、スケジュール、体調管理を徹底して、強固に自分自身と闘ってほしいと思います。志をもったメンバーが増えていくことで、ウイングクラブは更にステップアップしていくことと信じています。

☆国際会長(IP)

A. Shanavaskhan (India)

主 題: "Together for a Better World"
「より良い世界のために、共に」
スローガン: "Arise and Shine"
「立ち上がろう、そして輝こう」

☆アジア太平洋地域会長(AP)

ジョン・ウォン (香港)

主 題: "Make a Great Impact"
「大きなインパクトを起こそう」
スローガン: "Be Bold and Serve by Faith"
「大胆に、信念をもって奉仕しよう」

☆西日本区理事(RD)

鶴丹谷 剛 (神戸)

主 題: 「つなげよう地域と世界、YMCAと共に」
"Connecting Local to the World with YMCA"
副 題: 「楽しもうフェロウシップをポジティブに」
"Enjoy positively our fellowship"

☆京都部部長(DG)

山下 大輔 (京都トップス)

主 題: 「あなたが主役!!!」
"It's up to you!"
ワイズライフのお祭り騒ぎ



CHARTERED 21.NOV'87
CLUB OFFICE
SANJO-YANAGINOBANBA
NAKAGYO-KU, KYOTO 604-8030 JAPAN
TEL (075) 231-4388 FAX (075) 255-2805

DATA OF JUNE

	第1例会	第2例会
●6月在籍者47名	38名	40名
メンバー	0名	14名
メネット	0名	4名
コメット	3名	4名
ゲスト	0名	0名
ビジター		

●6月月間メイキャップ者数	0名
●6月月間出席率	88.6%
●BFポイント 切手	0 pt 累計 0 pt
6月分 現金	0 円 累計 0円
●ニコニコ 6月分	17,250 円 累計 142,760円
●ファンド 6月分	88,000 円 累計 475,194円

7月の強調テーマ

Kick-off PR

新年度スタートです。ワイズメンズクラブを、自分の活動を、家族、友人、知人、そして社会全体にアピールしましょう。

荒川 恭次 広報・情報委員長
(名古屋グランパス)

6月の例会

第一例会

日時:6月6日(木) 19:00～

場所:ホテル日航プリンセス京都

プログラム:ゲストスピーチ

37期も残り1月を切った中での、6月第一例会ではNPO法人こども未来 岡本理事長にご登壇いただき、医療的ケア児童 重症心身障害の子供たちと彼らを取り巻く現状についてお話いただきました。

ウイングで奉仕活動にわずかでも携わってきた私でしたが、本日お話ししていただいたことは想像もしないほど過酷な現状であり、私が現状を全く理解できていなかったことを目の前に突き付けられた気持ちでした。また、私自身次期CS委員長として彼らとどのような取り組み支援を行っていくべきか答えを探していかなければならない中で、志だけで一体どのような役に立てるのだろうかと不安さえ感じてしまいました。しかし同時に、例年とはまた違った事業を進めていくことになるかと思えますし、そういった転機となる年の委員長を任せていただいたことに、大きな意義を感じております。(奥田健登)



は面映ゆい気もしますが、名誉なことですので、ありがたくいただきます。」とスピーチされました。会長表彰として各委員長が表彰されたほか、京都部部長の重責を果たされた武村ワイズと京都部部会実行委員長として活躍された佐々木ワイズに会長特別表彰として選ばれました。最後は、北川ワイズ作成の渾身のウイングの一年間を振り返るスライドが上映され、山田ワイズのコメット4名もサブライズ登場し、温かい雰囲気のもと、山田会長期の最後の例会を全うすることができました。

(錦織秀臣)

第二例会

日時:6月22日(土) 18:00～

場所:ホテル日航プリンセス京都

プログラム:引き継ぎ例会

山田会長の集大成である第37期引継ぎ例会が、バイオリン沖本みなみさんとキーボード浅田エリさんの生演奏とともに、開会しました。開会の点鐘に次いで高辻篤史さんの入会式が執り行われ、ハプニングで、ワイズバッジはエアー装着となりましたが、メンバー全員の暖かい拍手をもって迎え入れることが出来ました。中島ワイズの食前感謝、上田次々期会長の乾杯で会食がスタートし、食事の際に、バイオリン沖本みなみさんとキーボード浅田エリさんによる素晴らしい演奏が行われました。メインプログラム、メンバー在籍表彰では、10年は木下ワイズ、15年は山田ワイズ、25年は中村誠司ワイズと島本ワイズ、35年は藤田ワイズ、40年は亀井ワイズが表彰されました。名誉会員第1号となられた亀井ワイズは「若いころ、生き馬の目を抜くような競争社会に加わるのは嫌だなあと悩み、そこでは生きたくないということで、競争しなくても良い職業につきたいと考えて人生の方針転換をしました。かかる考えが根底にありつつ、ワイズと出会ったのは、私が30代の頃でした。ワイズを通してY M C Aとも出会うことになりました。私は、ワイズもY M C Aも、この不条理に満ちた世界で、人はどう生きるべきか、それを最大のテーマに置いている団体であることに気が付きました。以来、40年間、それなりの役を与えられてやってきましたが、私がした働きに比べて、はるかに大きなものをワイズやY M C Aの活動から得られたと感じています。こんな私が、40年在籍ということで表彰されるの





乾杯の発声は、上田次々期会長



新メンバー 高辻篤史さんの入会式も行われました



10年表彰



15年表彰



25年表彰



35年表彰



40年表彰

おめでとうございます
亀井ワイズ
奈良傳賞 受賞

6月の事業参加

西日本区大会

日 時:6月8(土)

場 所:名古屋市公会堂&ANAホテルグランコート名古屋

プログラム:西日本区大会

引継役員会

日 時:6月16日(日)

場 所:湯の宿 松栄 誠の湯

プログラム:37期・38期引き継ぎ役員会

毎年恒例の引継役員会が行われました。そして武村京都部部長始め、京都部キャビネットの皆さんの慰労会も併せて行われました。37期三役、役員の方皆さん、また武村京都部部長並びにキャビネットの皆さん1年間お疲れ様でした。38期の皆さんも1年間よろしくお祈いします。(天根静也)



2010年に4月にウイングクラブに入会したので、今年の春で15年目に突入しました。自分でもすっかり勘違いしていたのですが、僕が京都から奈良に引っ越したのは2009年なので、実は入会する前からもうすでに奈良には住んでいました。往復で4時間もかかるのにウイングクラブに入会したのは、それだけワイズ活動に興味があったのかもしくは京都に出かける口実を作っておきたかったのか今では真相は忘れました。

入会して3年目に初めてファンド委員長を任命されました。そこから1年おきにブリテン委員会を仰せつかり、9年目に書記、10年目に副会長、11年目に会長、12年目に直前会長、そして昨年はYサ委員長で、今年は4回目のブリテン委員長を拝命しました。

会長選考委員会の方から連絡が入った時は、本当に「寝耳に水」のお誘いで、即断できず、選考委員会の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、ちょうどコロナ禍にさしかかり、結果的には自分にとってはちょうどいい規模の会長期を送ることになりました。本当に何事も塞翁が馬な気がしています。

会長をする前と後で大きく変わったことはクラブに対する貢献の考え方です。会長をするまでは、何かの委員長の役が回ってきたとしても、「何か今までの委員長がしてこなかったことをして自分の痕跡を残したい」というような自分の手柄を立てたい想いが強く、実際そういうことを意識してやってきたと思います。しかし、会長を経てからは、「クラブにとって最善になることを自分の置かれた立場で頑張る」というような「クラブの利」を中心に考えるようになったのではないかと思います。

ここから本題に入りますが、最近のクラブの良い点として話題に出るのが、「事業が委員長任せになっているのではないか」ということです。皆さんはそんな風に思わないですか？僕個人の感想としては、委員長に限らず、クラブの全役職が「その役職の人が背負って職務を全うしないとイケない」そんな雰囲気クラブ内に漂っているような気がします。

もちろん任命された以上職務を果たすことは大切なことですが、なぜそんな雰囲気になるかということこれは皆さんが悪いというよりは世相の反映なのかなあとと思います。

2020年から5類に移行する2023年まで、メンバーの実業でコロナによる打撃を受けた方がたくさんおられました。そこからの立ち直りの過程で、「効率化や省力化そしてリスク回避」ということに徹底的に取り組まれた方もたくさんいらっしゃるのではないかと思います。

そういった合理性最優先の意識がこのワイズ活動にも無意識に反映されてしまっているのではないのでしょうか？例会の出席率の低下もそこから来るような気がします。コロナ禍は人々の人体に猛威を振っただけではなく、ワイズ活動の源泉であるボランティア精神を蝕んだ気がしてなりません。

そんな状況からいかに我々は立ち直っていくのか？

そのためにはクラブの委員会活動を活発化させることではないかと思います。委員会活動には、「西日本区→京都部→会長→三役→委員長→メンバー」という情報伝達の役目があります。それをもとに担当する事業の段取りを図るのも委員会の大切な役目だと思います。しかし、「委員会→役員会→三役会」と、我々の意見を委員長が吸い上げて三役に伝えるための場でもあります。クラブを活発化させるには1人1人が委員長を通じて三役に向けて意見を届け、役員会という審議の場でそれを議論する行程が必要だからです。

今期の会長主題は「志を持って例会に参加しワイズライフを楽しもう」です。それに呼応するのであれば「志をもって委員会に参加し奉仕の精神を取り戻そう」ではないかと思います。コロナ禍で荒れてしまった我々の心を癒やすのは積極的な奉仕活動であり、そのために密度の濃い委員会の場で意見交換をすることが何よりもクラブをよくしていく第一歩ではないかと思えます。

7月・8月の予定

7月の予定

4日（木）第一例会：定時総会	19時～	H日航プリンセス
7日（日）リトセン夏季準備ワーク	9時～	リトリートセンター
8日（月）役員会	19時～	三条YMCA
20日（土）第二例会：納涼例会	18時～	BEER Thirty

8月の予定

1日（木）第一例会：Yサアワー	19時～	H日航プリンセス
5日（月）役員会	19時～	三条YMCA
17日（土）18日（日）青い空と白い雲のキャンプ丹後海と星が見える丘公園		
22日（木）第二例会：部長公式訪問	19時～	H日航プリンセス